

現在、1年間に新たにがん
と診断される日本人は、男性
で57万人強、女性で44万50
00人ほどです。

前回書きましたが、国立が
ん研究センターの長期予測に
よると、2030年代後半に
は、男性は64万人(約12%増)、
女性は53万人(約19%増)に
まで増えると見込まれていま
す。

がんのリスクを表す数値と
して分かりやすいのが、「生
涯累積がん罹患(りかん)リ
スク」です。生涯で、何人に
1人が、がん罹患するか示
します。よく、「日本人の2
人に1人が、がんになる」と
言われます。このフレーズは、
10年以上前から私が使って
きたものですが、当初は「ウ

がん社会 を診る

中川 恵一



イラスト・中村 久美

今や半数以上あなたの備えは

た推計で、男性62%、女性46
%、15年データでは、男性63
%、女性48%でした。

高齢化を背景に、がんにか
かるリスクは年々高くなって
います。国立がん研究センタ
ーのホームページでは、男性、
女性とも「2人に1人」とし
ていますが、男性では「3人
に2人」、女性でも「2人に
1人」が、がんになるといえ

るでしょう。

また、臓器別にみると、
日本女性が生涯に乳がんを診
断される確率は前回の11人に
1人から、9人に1人とアッ
プしていました。

食生活の欧米化や肥満、運
動不足といった生活習慣の変
化の他、少子化も大きな影響
を与えていると思います。妊
娠から授乳に至る約2年間は
生理が止まるため、乳がんリ
スクが下がります。授乳が乳
がんを予防することも確実視
されていますから、出生数の
低下が乳がんを増やすことに
なるのです。

男性では、前立腺がんの生
涯罹患リスクも9人に1人と
されています。生活環境の変
化とともに、腫瘍マーカーP
SAの測定が広がったことも
影響していると思います。

がんは決して他人ごとでは
ありません。あなたの備えは
十分ですか。

(東京大学病院准教授)

ソでしょう。そんなに多いは
ずはない」などと、言われた
こともありました。

生涯累積がん罹患リスクの
最新の数値は、国立がん研究
センターのホームページで定

期的に更新されています。6
月6日に公表された最新デー
タ(17年のデータでの推計)

では、男性は65・5%、女性
は50・2%でした。前回まで
の数字は、13年データを使っ